

2026 年度 日本作業科学学会第 21 回総会 議事録

1. 日時：2026 年 7 月 25 日（土）20：00～20：41

2. 場所：オンライン（Zoom）

3. 議長団選出及び書記及び議事録署名人の任命

議長：松澤良平（イムス板橋リハビリテーション病院）

書記：松井香那葉（文京学院大学）

議事録署名人：吉川ひろみ（県立広島大学）

田鍋孝祐（勤医協中央病院）

定足数報告

2026 年 6 月 30 日現在の会員数 235 名。総会成立のためには会員数の 3 分の 1 である 79 名の参加が必要。総会参加者 22 名，委任状提出 74 名，議決権行使書 8 名，合計 104 名で総会が成立した。

4. 議案と議事の経過

第 1 号議案 2025 年度（2025 年 7 月～2026 年 6 月）事業報告

各担当理事より 2025 年度事業報告が行われた。

→議長・松澤良平（イムス板橋リハビリテーション病院）が議場に質問意見を求めたが，質問および意見はなかった。

その後，議長が本議案を採決し，本議案は圧倒的多数の賛成を得て可決された。

第 2 号議案 2025 年度（2025 年 7 月～2026 年 6 月）決算報告・監査意見書

事務局・西方浩一（文京学院大学）より，2025 年度決算報告を行った。続けて，報告された内容について，会長・山根伸吾（令和健康科学大学）より，監事意見書に基づいた監査報告がなされた。

→議長が議場に質問意見を求めたが，質問および意見はなかった。

その後，議長が本議案を採決し，本議案は圧倒的多数の賛成を得て可決された。

第 3 号議案 2026 年度（2026 年 7 月～2027 年 6 月）事業計画及び予算案

各担当理事より 2026 年度の事業計画が報告された。また，事務局・西方浩一（文京学院大学）より，2026 年度予算案が報告された。

→議長が議場に質問意見を求めたが，質問および意見はなかった。

その後，議長が本議案を採決し，本議案は圧倒的多数の賛成を得て可決された。

第 4 号議案 次期日本作業科学学会学術大会開催地の件

会長・山根伸吾（令和健康科学大学）より，次期（2027 年度第 30 回）日本作業科学学会学術大会開催地として愛知県，大会長として星野藍子氏（名古屋大学大学院）

実行委員長として松本武士氏（大内病院）が推薦された。

→議長が議場に質問意見を求めたが，質問および意見はなかった。

その後、議長が本議案を採決し、本議案は圧倒的多数の賛成を得て可決された。
→愛知県での開催が承認された後、次期大会長星野藍子氏より挨拶があった。

大会日程は 2027 年 9 月 4 日（土）、5 日（日）、会場は名古屋大学を予定している。
テーマは『『作業と場』再考:学際的視点から(仮)』とし、基調講演には Antoine Bailliard
(Duke University)、佐藤剛記念講演には吉川ひろみ（県立広島大学）を招聘する方向
で準備を進めていることが報告された。

第 5 号議案 役員選任

会長・山根伸吾（令和健康科学大学）より、2026 年 5 月 15 日付で公示した 2026 年度
役員選出について、立候補を 2026 年 6 月 10 日付けで締め切り、その結果、理事、監事
ともに立候補者数が定数と一致し、全員が無投票当選となった旨、報告がされた。

→議長が議場に質問意見を求めたが、質問および意見はなかった。

その後、議長が本議案を採決し、本議案は圧倒的多数の賛成を得て可決された。

第 6 号議案 名誉会員の推薦について

名誉会員の推薦について、会則第 4 条に則り、理事会より宮前珠子氏を推薦する旨の報告
があった。

→議長が議場に質問意見を求めたが、質問および意見はなかった。

その後、議長が本議案を採決し、本議案は圧倒的多数の賛成を得て可決された。

*議長から、以上をもって本総会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。
当議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が次に署名捺印する。

日本作業科学学会第 21 回総会

2026 年 7 月 25 日 議長 松澤良平



2026 年 7 月 25 日 議事録署名人 吉川ひろみ



議事録署名人 田鍋孝祐

